

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2016.04.No224

4月号

目次

会長挨拶	1
平成28年 定時総会報告	2
道士会の動き	4
実行委員会報告	6
【事業・まちづくり】	
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>



会 長 挨 拶

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

まだまだ肌寒い日が続いておりますが、北海道にもやっと春の気配が感じられるようになってまいりました。会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、3月23日に開催されました定時総会、その後の理事会におきまして会長に選出されましたので紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

「少子高齢化やライフスタイルの変化」を文書作成等の常套句としたのは30年も前のことでありますが、今まさに、その真っ只中となり、それらがもたらすこととなった市街地の衰退に歯止めがかからず、どこの町でも、中心街の居住人口の減少などに頭を悩ませているのが実情であります。今、我が国の人口が減少に一步を踏み出したこの時期こそ、私達は、地域がしっかりとした生活圏として成り立っていく術を考えなければなりません。ひとつは空洞化した市街地の活性化、もうひとつは、地域の中で経済活動がうまく回っていく仕組みの維持、あるいは再構築をしていくことであり、建築行為でその一端を担う建築士として、どのように関わっていくのかが問われております。それらの対応の前提として、今一度、私達の足元を見てみると、各支部では、地域において様々な要因があったとはいえ、支部設立当初からの自治体との協力関係が、だんだんと希薄になってきており、まずは、その現状を払拭することから始めなければなりません。そこで、各支部の皆様、自治体、そして住民との信頼関係を醸成するため、是非とも取組んでいただきたいことを二点お話させていただきます。

一点目は、昨年、本会のまちづくり活動が高く評価され、北海道から、景観法第92条による指定を受けた**景観整備機構の活用**であります。支部においては、日頃から行っているまちづくり活動はもとより、

新たなまちづくりに関わる発意も、この景観整備機構に裏打ちされたものとして、関係する行政機関と調整し展開していくことが信頼の厚みを増すことに繋がると考えております。さらには、地域の歴史的建造物の保全活用を図り、地域固有の風景を回復し、誇りの持てる地域づくり、まちづくりを担うヘリテージマネージャーも一緒に活動することが重要であります。地域の方々が気にも留めなかった建物にスポットライトを当て、それがまちづくりの起爆剤となり、町の活力となるなら、こんな素晴らしいことはないと思います。

二点目は、東日本大震災の際、支部が地元の避難施設の応急危険度判定をいち早く実施し、評価の高かった**地域完結型の応急危険度判定業務の運用**であります。本会では、まずその前提となる自治体と支部との協定書のモデルを制定し、昨年の支部長・支部事務局長会議において、その活用をお願いしたところです。是非とも各支部におかれましては、自治体と震災時における応急危険度判定の協定を締結し、そのことに留まることなく、避難施設の見学会、避難経路の検証等々の支部提案を積極的に行っていただきたいと思います。このことにより、行政、建築士会、住民と一緒に防災に関わる様々な取組みを進めるきっかけとなり、地域の安全安心な生活に向けた、三者の新しい信頼関係の構築につながると考えております。

以上の二点について、今後、各支部の皆様と一緒に積極的に取組みを進め、改めて地域での建築士会の求心力の回復、ポジションの確立を目指してまいります。

どうか、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

平成28年(一社)北海道建築士会定時総会報告

定時総会開催 高野会長続投、役員改選により8名の理事が新任

日 時：平成28年3月23日(水) 14時30分～17時00分
 会 場：ホテル札幌ガーデンパレス 2F 孔雀
 (札幌市中央区北1条西6丁目)

出席者：代議員 40名中 29名出席
 議 事

事務局より代議員の過半数が出席していることを報告し、総会の開催宣言の後、池田浩司氏(札幌支部)が議長に選出され、また、議事録署名人として、宮原進氏(旭川支部)と内海純一氏(札幌支部)が選出された後、理事者側から第1号及び第2号議案の提案及び説明があり、逐次審議を行った結果、いずれも原案どおり可決されました。また、今年は役員改選期であるため第3号議案で提案し、理事21名と監事2名が選出されました。

事務局



議 案

【議案第1号】平成27年 一般会計事業報告及び収支決算
 【議案第2号】平成27年 特別会計事業報告及び収支決算
 【議案第3号】役員改選

議案第1号及び2号の主だった内容は以下のとおり

【議案第1号】

◆平成27年 一般会計事業報告

『委員会所管事項』

◎ 総務委員会

- ・組織運営の適正化に係る対応
- ・関係機関との意見交換会等の実施
- ・建築関係団体との連携
- ・専攻建築制度等に関する事項
 申請：新規 3名 3領域 更新 67名 82領域
 必要に応じ評議会等開催
- ・建築士会継続能力開発(CPD)制度の促進
 CPD参加登録者 1,109名
 CPDプログラム評議会及び同部会の開催等
 第40回全道大会(紋別大会)
 第58回建築士会全国大会(石川大会)
 表彰の実施、赤レンガ建築賞への共催等

◎ 事業委員会

- ・「第58回建築技術講習会」開催検討
- ・支部事業の活性化に向けた支援事業の検討

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(209号～220号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全道大会分科会「北海道建築士号外」発行

◎ まちづくり委員会

- ・第5回まちづくりフォーラムin江差開催
- ・「高校生建築デザインコンクール」7校 148名 93作品
- ・「高校生建築甲子園」1校3作品(留萌千望高校)
 *奨励賞 受賞
- ・北海道からの景観整備機構指定
- ・連合会会議への参加
- ・全道大会分科会の実施

◎ 青年委員会

- ・「全道青年委員会連絡会議」札幌市開催：参加者 60名
- ・「青年建築士の集い」倶知安町開催：参加者 103名
- ・「ブロック協議会活動」4ブロック協議会会議 計12回開催
- ・「青年サミット」紋別市開催：参加者 84名
- ・「社会貢献活動」新さっぽろアークシティ サンピアザ光の広場で開催
- ・「建築士の日のイベント」【建築のお仕事体験】等
 参加者(一般市民)1,495名
- ・全道大会分科会の実施

◎ 女性委員会

- ・各ブロック活動 勉強会・見学会等の開催を支援
- ・女性建築士の集い開催 室蘭市開催 参加者 24名
- ・全道大会分科会の実施
- ・連合会女性委員会委員派遣
- ・「地域における住教育実践推進事業業務」の実施
 ①「建築士による家庭科住教育出張講座」11校実施 674名
 ②「建築士・教諭向けセミナー」2都市開催 25名
- ・全国女性建築士連絡協議会への参加
- ・高齢者タスクフォース協力

◎ 被災地応急支援特別委員会

- ・応急危険度判定ネットワークの構築
- ・応急危険度判定地区協議会への協力
- ・応急危険度判定訓練への参加 石狩市 8名(会員)
- ・机上訓練の実施 旭川支部 28名 小樽支部 24名
- ・応急危険度判定業務資機材購入

◎ 会員増強特別委員会

- ・一級建築士試験設計製図課題建築物見学会の実施

◎ ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・「ヘリテージマネージャー育成講習会」
 修了者 ヘリテージマネージャー 34名
 ヘリテージコーディネーター 13名

◎ 全国大会(北海道大会)準備委員会

- ・委員会の開催 6回

『事務局所管事項』

- ・一級、二級、木造建築士試験の実施

試験種別	合格者(名)	合格率(%)	
		北海道	全国
二級	130	12.0	21.5
木造	0	0	27.3
一級	83	7.8	12.4

- ・一級、構造・設備設計一級建築士登録等の業務
 新規 91件 事項変更等 294件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
 新規 154件 事項変更等 276件
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 3,081名
 応急危険度判定士認定講習会 17会場開催 受講者 589名
- ・建築士定期講習 17会場開催 受講者 1,141名
- ・監理技術者講習の開催 札幌市2回 受講者 5名
- ・「第48回建築基準法講習会」開催
 全道 20ヶ所：受講者 1,439名
- ・「改正建築士法・改正建築基準法講習会」
 5会場開催 受講者 333名
- ・ドライクリーニング工場調査の協力 調査件数：1件
- ・「地域高齢者居住環境アセスメント等モデル事業」の実施
 調査数 1件

◆特別会計事業報告

・事業募集・採択・連合会活動センターへの申請
 応募及び審査・採点 1団体1事業 助成なし
 ＊各事業報告の後収支決算報告と、成田監事による監査報告が行われた。

◆平成27年収支決算報告

貸借対照表

平成27年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会 (単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	57,196,138	46,020,742	11,175,396
未収会費	237,600	661,600	△ 424,000
未収金	2,735,267	3,023,229	△ 287,962
貯蔵品	850,628	1,244,658	△ 394,030
立替金	404,380	226,936	177,444
前払費用	425,940	211,980	213,960
流動資産合計	61,849,953	51,389,145	10,460,808
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	6,728,341	6,726,996	1,345
財政調整積立預金	46,844,693	48,978,056	△ 2,133,363
大会積立資産	3,500,000	2,000,000	1,500,000
特定資産合計	57,073,034	57,705,052	△ 632,018
固定資産合計	57,073,034	57,705,052	△ 632,018
資産合計	118,922,987	109,094,197	9,828,790
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,072,362	700,434	371,928
未払費用	1,143,647	141,609	1,002,038
前受金	5,656,000	3,814,680	1,841,320
前受会費	18,713,400	15,969,600	2,743,800
預り金	1,253,031	1,383,597	△ 130,566
流動負債合計	27,838,440	22,009,920	5,828,520
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	6,728,341	6,726,996	1,345
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	6,728,341	6,726,996	1,345
負債合計	34,566,781	28,736,916	5,829,865
III 正味財産の部			
一般正味財産	84,356,206	80,357,281	3,998,925
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(50,344,693)	(50,978,056)	△ 633,363
正味財産合計	84,356,206	80,357,281	3,998,925
負債及び正味財産合計	118,922,987	109,094,197	9,828,790

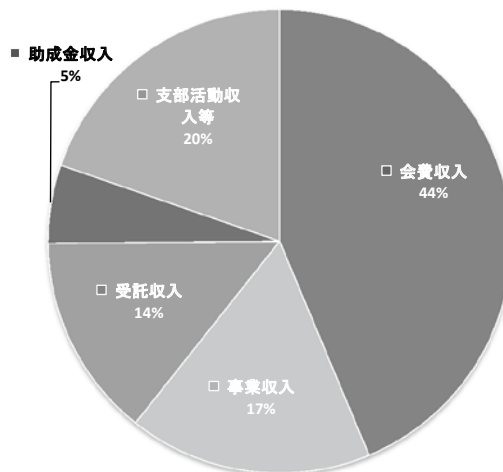
収支計算書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

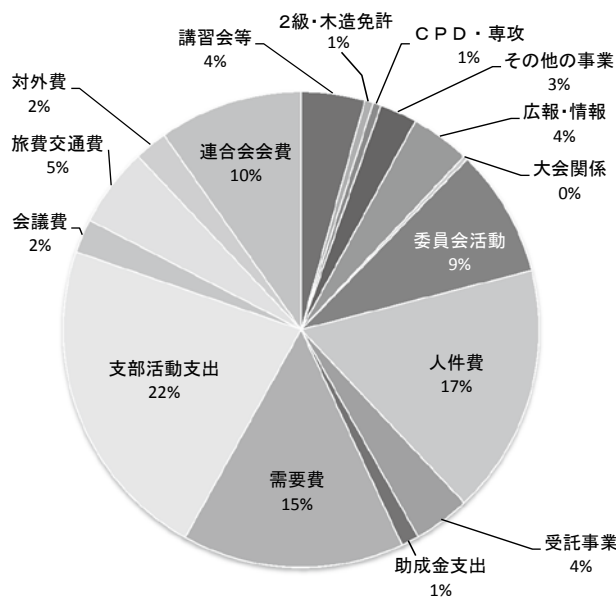
一般社団法人 北海道建築士会 (単位：円)

科目	予算	決算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	66,436,000	66,428,568	7,432
事業収益	29,504,350	25,828,157	3,676,193
受託収益	22,017,000	21,555,820	461,180
助成金収益	39,112,000	8,316,746	30,795,254
退職給付引当金戻入	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
雑収益	27,383,268	29,909,381	△ 2,526,113
経常収益計	184,452,618	152,038,672	32,413,946
(2) 経常費用			
事業費	124,557,024	112,098,224	12,458,800
講習会等費	9,930,000	6,415,752	3,514,248
二級・木造免許登録等業務費	850,000	841,229	8,771
継続能力開発制度費	610,000	468,377	141,623
専攻建築士制度費	450,000	347,096	102,904
その他事業費	4,474,000	3,754,601	719,399
広報・情報費	7,186,000	5,947,833	1,238,167
大会関係諸費	1,735,000	431,427	1,303,573
委員会活動費	13,759,000	12,895,795	863,205
人件費	22,932,000	22,029,079	902,921
受託事業費	8,838,000	5,685,957	3,152,043
助成金	4,259,000	1,778,313	2,480,687
需要費	22,563,200	20,873,984	1,689,216
雑費	26,970,824	30,628,781	△ 3,657,957
管理費	74,101,000	35,932,373	38,168,627
人件費	3,710,000	3,088,132	621,868
会議費	3,641,000	3,407,375	233,625
旅費交通費	9,429,000	7,978,195	1,450,805
需要費	1,737,000	1,443,196	293,804
対外費	3,510,000	3,319,674	190,326
雑費	35,000	2,224,801	△ 2,189,801
連合会費	52,039,000	14,471,000	37,568,000
事業活動支出計	198,658,024	148,030,597	50,627,427
事業活動収支差額	△ 14,205,406	4,008,075	△ 18,213,481
2. 投資活動収支の部			
(1) 投資活動収入			
特定資産取崩取	2,610,000	3,254,246	△ 644,246
(2) 投資活動支出			
特定資産取得支	917,000	632,018	284,982
3. 財務活動収支の部			
(1) 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
(2) 財務活動支出			
他会計振替支出	100,000	100,000	0
予備費支出	5,397,389	0	5,397,389
当期一般正味財産増減額	△ 18,785,795	4,540,093	△ 23,325,888
前期繰越収支差額	18,785,795	27,897,457	△ 9,111,662
次期繰越収支差額	0	32,437,550	△ 32,437,550

◆収入の状況



◆支出の状況



◆役員の改選について

任期満了に伴う役員の改選が行われ、平成28年・29年の役員として、理事21名、監事2名が選出された。
 同日、総会後に新役員による理事会が開催され、会長・副会長・専務理事が選出された。あわせて、役員の役職等についても報告された。

◆報告事項

平成27年12月4日開催の平成27年第4回理事会において承認された平成28年一般及び特別会計事業計画及び収支予算及び第62回全国大会について、事務局より主な内容を報告した。

◆東西アスファルト事業協同組合へ感謝状を贈呈

総会前に平成27年に当会へ200万円の助成金をいただいた東西アスファルト事業協同組合へ感謝状の贈呈式を行った。



平成28・29年 (一社)北海道建築士会 役員名簿

役 職	支部名	氏 名	役 職	支部名	氏 名	役 職	支部名	氏 名
会 長	札 幌	高野 壽世 再任	副 会 長	札 幌	吉木 隆 再任	副 会 長	札 幌	鈴木 基伸 再任
統括理事	札 幌	長谷川敏文 再任	統括理事	函 館	山内 一男 再任	統括理事	北 見	庵 敏幸 再任
統括理事	旭 川	中澤 光夫 新任	専務理事	札 幌	石川 淳一 新任	常務理事	札 幌	久島 正嗣 再任
常務理事	札 幌	牛田 健一 再任	常務理事	札 幌	針ヶ谷拓己 再任	常務理事	小 樽	本間 恵美 再任
理 事	札 幌	西岡 誠 再任	理 事	恵 庭	伊藤 隆英 新任	理 事	小 樽	早川 陽子 新任
理 事	恵 庭	石塚 尚也 新任	理 事	札 幌	工藤美智子 新任	理 事	北広島	関川 修司 新任
理 事	苫小牧	北村 啓 再任	理 事	十 勝	鈴木 徹 新任	理 事	北空知	川口 弘 再任
監 事	札 幌	松崎 健児 新任	監 事	苫小牧	佐藤 芳則 新任			

道本部の主な会議報告 (3月)

第1回被災地応急支援委員会

〈開催日〉3月5日(土)

〈議題〉

- 1) 平成28年事業計画について
- 2) 連絡網の登録者の増と整備について
- 3) 各自治体と支部の「災害時応急危険度判定活動連携協定」締結の推進について

第1回理事会

〈開催日〉3月10日(木)

〈議題〉※議題はすべて承認済み

- 1) 平成27年一般会計事業報告及び収支決算(案)について
- 2) 平成27年特別会計事業報告及び収支決算(案)について
- 3) 平成28年通常総会の開催(案)について
- 4) (一社)北海道建築士会職員就業規則の改正(案)について
- 5) 第42回全道大会開催地及び開催日(案)について
- 6) 第62回建築士会全国大会(北海道大会)実行委員会の構成(案)について
- 7) (一社)北海道建築士会顧問及び相談役の推薦について(案)
- 8) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)について

第1回まちづくり委員会

〈開催日〉3月12日(土)

〈議題〉

- 1) 平成27年事業報告・決算報告、平成28年事業計画・予算について
- 2) まちづくりフォーラムについて
- 3) 高校生建築デザインコンクールについて
- 4) 高校生「建築甲子園」について 他

第2回理事会

〈開催日〉3月23日(水)

〈議題〉※議題はすべて承認済み

- 1) 会長、副会長、専務理事の選任について

道本部の主な行事予定 (4月)

4日(月)

建築士試験業務連絡会議

9日(土)

第1回情報委員会

16日(土)

第1回青年委員会WEB会議

23日(土)

第2回総務委員会

建築士試験関係

一級建築士試験

学 科 7月24日(日)

設計製図 10月9日(日)

受付(対面) 札幌市

5月12日(木)~16日(月)

函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市

5月13日(金)・16日(月)

二級建築士試験

学 科 7月3日(日)

設計製図 9月11日(日)

受付(対面) 札幌市

4月7日(木)~11日(月) 5日間

函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市

4月8日(金)・11日(月)

木造建築士試験

学 科 7月24日(日)

設計製図 10月9日(日)

受付(対面) 札幌市

4月7日(木)~11日(月) 5日間

函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市・北見市

4月8日(金)・11日(月)

平成28年 専攻建築士認定状況

3月29日(公社)日本建築士会連合会専攻建築士認定評議会にて、下記の通り認定されました。

新規申請 3名(3領域)

更新申請 31名(36領域)

専攻建築士総数(北海道) 161名(191領域)

※平成29年専攻建築士申請受付は、平成29年1月4日~2月28日を予定しています。

■ 平成27年度一級建築士免許証明書交付式 ■

本部事務局長 鈴木 功 一

1. 日時・場所

日 時 平成28年2月20日(土)
場 所 ホテル札幌ガーデンパレス
参加者 30名

2. 式次第

第1部 交付式 14時～16時30分
第2部 合格祝賀会 16時30分～18時

3. 交付式内容

今回免許証明書をお渡しした方は、28年1月5日までに免許申請した方で、平成27年度一級建築士合格者83名中30名の方がご出席されました。

札幌市在住及び近郊の方の他、遠くは中標津町、函館市、音威子府村等遠方からもご参加いただきました。

祝辞は、北海道建設部平向住宅局長からのご祝辞の後、長谷川常務の講師によるセミナー（基本編・実務編）があり、高野会長から一人一人に一級建築士免許証明書をお渡ししました。

4. 合格祝賀会

ここからは、本部より青年委員会にバトンタッチし、青年委員会の企画で合格者19名、建築士会関係者8名による祝賀会を楽しみました。

今回の交付式の中で、十分建築士会をPRできましたし、入会者2名を確保いたしました。

最後は、盛り上がり急遽2次会のセットとなりました。

この交付式は、合格者と直接お話しできる唯一の場ですので、意義のある交付式でした。



■ 札幌支部が札幌市と協定締結 ■

被災地応急支援委員会 委員長 牛田 健 一 (札幌支部)

北海道建築士会として、北海道建築士会震災建築物応急危険度判定支援要綱に基づき、支援体制の整備に係る取り組みとして行政との連携の推進を提案していましたが、札幌市がこの提案に呼応していただき、2月12日に北海道建築士会札幌支部と札幌市との間で「災害時応急危険度判定活動連携協定」を締結しました。

当日は新しく札幌支部長となりました長谷川敏文氏と札幌市都市局長京篤氏が、地震災害対応時における円滑な協力体制の確保を目的とした協定書の受け渡しを行い、今回の協定を契機として一層の連携体制を築いていくことを確認しました。



建築士会支部と行政の協定は、平成21年に恵庭支部が道内支部の第一号として早々に締結していました。

恵庭支部におかれましては、昨年制定した道士会の支援要綱に基づき、全道的な統一を図るという観点で、昨年7月に水間支部長と恵庭市長出席の元、再度協定を締結されております。



わたしたち民間応急危険度判定士が市民・行政と連携して社会に貢献していくことが建築士としての義務だと思いますがいかがでしょうか。

道内の各支部におかれましても、市町村との協定締結の推進をお願いいたします。

「建築技術講習会」 過渡期の精査について

事業委員会

委員長 伊藤 隆英 (恵庭支部)



去る2月5日(金)午後3時から本部会議室にて平成28年第1回事業委員会を開催しました。

今回の役員は、委員長、副委員長、委員の各1名が「新任」で、あとの副委員長1名と委員3名が「再任」という新役員体制になりました。

議題の1つとして、第58回「建築技術講習会」の計画について、各支部5会場で120名程度の受講者目標を立て、予算20万円のテキスト印刷代等を計上しておりますが、果たして今までの受講状況からそれらの成果が得られるのか否かの討議を行いました。

その第1点目として、57年間も続いた「建築技術講習会」は、道内における住宅建設の技術向上と最新技術の工法を建築技術者が習得することを目的として、開催してきましたが、年々受講者が減少する傾向にあり、3年前からテキストの内容及び運営方法を見直し、寒地住宅にこだわらずニーズに合わせたテキストを作成し、講習会の開催を支部主導にすることで、各支部の事情に合わせた開催日時・開催場所及び受講料を自由に設定できるなど支部会員へのサービス向上など支部活動の活性化を図れるように努めてきました。しかし、近年の受講者数はピーク時の1/10まで激減しました。その要因は何か。(※講習会のテーマが現在の会員ニーズに合うものなのか。)

第2点目として、講習会のテーマに「限界」が来たのではないかと。(※「ネタ」不足・切れ。)

第3点目として、会員の減少に伴い、若年会員が少なく受講の対象者がいない。

課題が山積している現状から従来型の「建築技術講習会」そのものが「過渡期」に来ているものと判断せざるを得ない状況にあります。

このまま作業を進めて事業展開をして「費用対効果」が得られるかという甚だ疑義があることから、今年度の第58回「建築技術講習会」を開催すべきかなどを含め、今後の「教育に関する事業」の新たな事業展開などの施策を各委員が持ち帰り精査をし、次回(8月)の委員会に提案して、討議の中から今後の「建築技術講習会」の「あり方」などの基本方針の確立に向けて努めたい。



まちづくり活動してみませんか？

まちづくり委員会

委員長 針ヶ谷拓己 (札幌支部)



“まちづくり”……。みなさんは何を想像しますか？ 一般的には、「地域住民が主体となって、まちを魅力的にし、豊かになるよう、ハード・ソフト両面から改善しようとするプロセス」と捉えられているようです。つまり、景観・環境づくり、文化・歴史づくり、経済づくり、ひとづくりなど、とても広域な活動が“まちづくり”です。

さて、まちづくり委員会では、地域のまちづくりや地域に密着した建築士会活動の推進を図るために、活動を進めておりますが、今期、新たに行う3つの取り組みについて、ご報告させていただきます。

①まちづくり活動の把握

現在、各支部のまちづくり活動組織(委員会や部会)について、本部では把握できていません。また、昨年、北海道から指定を受けた景観整備機構に関わる委託業務の実働には、“各支部まちづくり組織”と“行政”との連携が、今後必須となってきます。そこで、ステップ1として、各支部を対象に「まちづくり活動についてのアンケート」を実施いたします。アンケートの集約後、ステップ2として各支部にご協力いただき、具体的なまちづくり活動の内容をまとめた「事業報告シート」の作成を進め、各支部のまちづくり活動を把握したいと考えております。

②まちづくり活動のアピール

まず、まちづくり委員会のホームページ立ち上げを進めていきます。そして、全道各地で行われているまちづくり活動事例の紹介や、まちづくり委員会活動の報告、委員会議事録などを掲載し、各支部まちづくり活動の参考になる情報を提供していくとともに、広く一般市民の方々にも、建築士会のまちづくり活動をアピールできればと考えております。

③まちづくり活動組織の交流

現在、全道各支部のまちづくり活動組織が一堂に会する機会はありません。一方で、まちづくり委員会では毎年1回、「まちづくりフォーラム」を開催しております。昨年は江差町、一昨年は札幌市で行われ、本部まちづくり委員と、開催支部や一般市民の方々、総勢20~30名ほどで開催していますが、この「まちづくりフォーラム」を、全道各支部まちづくり活動組織が集い、情報共有などの交流ができる“場”にしていきたいと考えております。

最後に、まちづくり委員会、今年は、“まちづくりの輪”を広げていきたいです。まちづくりに興味のある方は是非、各支部事務局へご連絡ください。一緒に、まちづくり活動してみませんか？

室蘭支部

この秋の建築士会全道大会の際は、是非、『温泉』にお寄りください！



副支部長
奥山 耕一

立春や雨水は過ぎましたが、北海道はまだまだ雪の景色ですね。3月に入ると別れが、そして春には新たな出会いの時期ともなりますが、歳を重ねると季節の移り変わりにも寂しさと喜びを感じます。

少し先の話になりますが、来る10月1日の全道大会は、室蘭で開催予定です。室蘭支部全体で皆様をお迎えすべく、秋に向け準備を進めていく所存です。

秋、といえば、食欲の秋、勉強の秋、スポーツの秋…などさまざまありますが、是非、『温泉の秋』はいかがでしょう？室蘭支部のある胆振には、全国的にも有名な登別温泉や洞爺湖温泉があります。

私の住む洞爺湖温泉は、2000年の噴火以降、観光客の数が一旦減りましたが、昨今は町を歩くお客様の数も増えております。洞爺湖畔を周遊する遊覧船の他、噴火の跡地も観光地として整備され、迫力のある噴火口が間近で見学可能です。昨今では、5月の『洞爺湖マラソン』や6月の『漫画・アニメフェスタ』などイベントも増え、賑わいを見せています。皆様のいらっしゃる10月末まで、『ロングラン花火大会』も毎晩開催されていますので、温泉と共に楽しんでいただければ幸いです。

秋は食べ物もおいしい時期ですので、胆振の温泉へ入り、美味しい食事や観光を楽しみ、日常生活への活力として頂ければと願います。改めまして、この秋の全道大会は室蘭支部全体で皆様を心よりお待ちしております。

士別支部

地域を越えた交流



事務局員
鈴木 春樹

現在の日本において、地方創生と言われてはいますが、この士別市においては、人口の減少・高齢化・少子化が深刻化している厳しい状況です。そんな中、昨年の夏に愛知県豊田市から20人の小学生を招き、市内でも小学生23人を集めて、地域を越えた交流事業を行いました。その事業では、トヨタ自動車(株)士別試験場のコースの見学から始まり、カヌー体験や農業体験、士別の特産品であるサフォーク(めん羊)の毛刈りショーにシープドッグショー、キャンプファイヤーなど天塩川からなる雄大な大自然があるからこそできる内容を堪能してもらいました。また、

最終日の朝には気球体験も行い、市内から参加の小学生も豊田から参加した小学生も全員大満足で2泊3日の交流事業を楽しんでもらいました。初めは、遠い地域の小学生ということもあり、お互いにぎこちない中からのスタートではありましたが、いつの間にかぎこちなさもなくなり、すぐに遠く離れた地域の小学生同士仲良く過ごしてくれました。最後には、豊田の小学生が乗った帰りのバスを、士別の小学生が追いかけて別れを惜しむ場面も見られ、この友情が事業に参加した子どもたちにとって、これからも続いてくれば嬉しく思います。

士別に来たらいつでもできるといった内容ではありませんが、事前に準備さえすれば、誰でも体験できる内容です。是非皆様も士別の雄大な大自然を堪能してはいかがでしょうか。

笠原爺ィの釣り日誌

～DNAと背後霊「魚釣りハ十八か所」の巻～

2

太公望

その人は、紀元前、千21年頃、中国の周の時代、渭水イソイと言う川で、釣りをしていたところ、時の王様「文王」が通り掛かり「これぞ、我が太公（祖父）が待ち望んだ人物！」と召し抱えられた人。（だから太公、望？）。本名「呂尚」、不世出の軍師で、その後、大活躍をした人。

世も変わり、今では「下手の横好き、釣迷人」、竿は垂れてるがボヤ～ッと空見てる様な人を云うとか。爺ィも、モウこの歳になって、息子に逆らってはイケナイ。「なら、軽い竿1本持って、安全なトコなら良いんだろ？危険な岩場は行きません。海は、防波堤で釣りますっ」「本ホント当？自分で言ったんだから、チャント守ってヨッ！」ムリムリ、了解を貰った。爺ィも、空気の良い「海や川」の、大自然の中で、ボヤ～ッとしに行こうか、と考えた。
つづく



CPD認定プログラム(3月認定)

- ◆**建築士会インスペクター養成講座**
 (日程及び会場) 平成28年4月22日(金)
 10:00~16:30
 北海道自治労会館(札幌市)
 (単位数) 5単位
 (問合せ先) (一社)北海道建築士会
 TEL. 011-251-6076
- ◆**平成28年度現場代理人合同研修会**
 (日程及び会場) 平成28年4月25日(月)・26日(火)
 9:00~17:00
 北海道建設会館(札幌市)
 (単位数) 各7単位
 (問合せ先) (一社)札幌建設業協会
 TEL. 011-261-6182

実務に役立つ建築法規解説2015 販売のご案内

販売予定数に達した時点で終了となりますので、お早めにお求めください。



実務に役立つ 建築法規解説2015

編集＝全道建築行政連絡会議

第49回 建築基準法講習会テキスト
 ◎A5判 ◎定価：3,500円


※送付希望の方へは書籍に請求書を同封の上、送料着払で発送しておりますので、FAXにてお申込ください。申込用紙は北海道建築士会のホームページからダウンロードできます。

応急危険度判定制度ネットワークへ参加しませんか

(一社)北海道建築士会は、「北海道震災建築物 応急危険度判定 連絡協議会」の規約に基づき、震災建築物の応急危険度判定業務に協力できる実効性のある支援体制を準備しています。

北海道建築士会会員の判定士による「被災地応急支援ネットワーク」へ登録し、建築士としての社会貢献活動にぜひご協力ください。(一社)北海道建築士会ホームページ (<http://www.h-ab.com/>) より簡単に登録できます。

「被災地応急支援ネットワーク」へ参加しませんか？



被災地応急支援特別委員会では、震災建築物の応急危険度判定業務に協力できる支援体制を準備しています。「被災地応急支援ネットワーク」へ登録して、建築士としての社会貢献活動にご協力ください。

※現在、判定士資格を失効している方もアンケートにお答えいただけます。

[登録アンケートを開く](#)

平成28年度 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- 対象建物 平成24年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- 対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限りです)
- 応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

平成28年5月20日(金) 必着

応募資料

- 申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- 提出資料 図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.229」に掲載します。※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。



昨年の作品

編集後記

「二十間道路」という名称をお聞きになったことはありませんか? 「間」という単位にピンとくる方もいらっしゃると思います。長さ20間? たったの36m? そうではなく、幅が20間の道路が直線7kmほど続いており、その両側にエゾヤマザクラが咲き誇る、そんな雄大な景色を楽しめる季節が間もなく訪れます。例年5月10日前後に満開を迎える日本一の桜並木。合併10周年を迎える「新ひだか町」にぜひお立ち寄りください。

情報委員会 森 勝利(日高支部)

情報委員会委員長/早川 陽子
 副委員長/齋藤 勝哉・高松 徹・森 勝利
 委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人
 柏倉 昌憲

北海道建築士 No.224号

印刷 平成28年3月/発行 平成28年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011) 251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011) 811-7151番